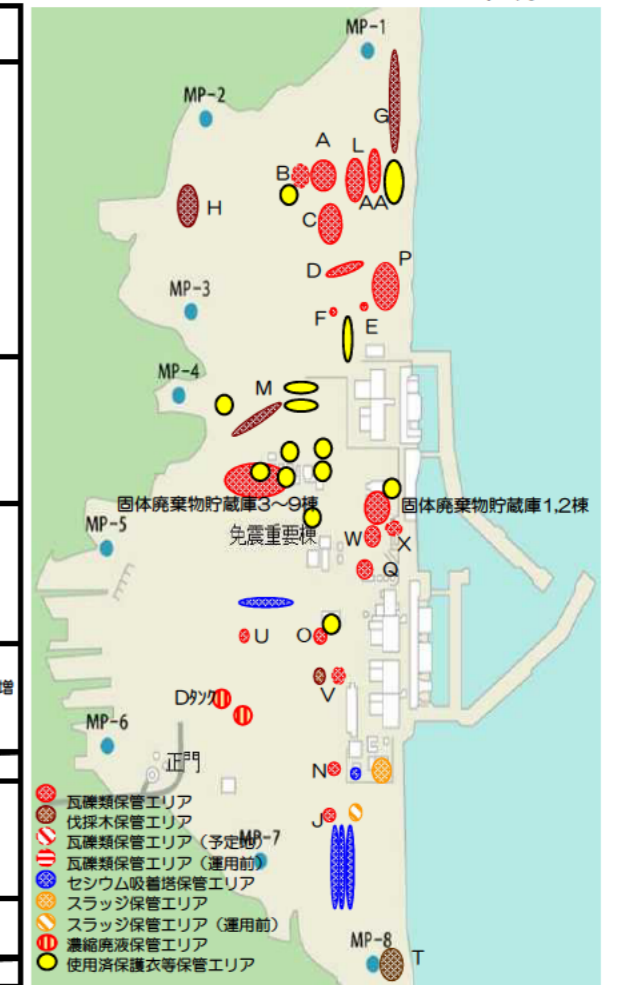


### 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2019.8.30 時点)

分類	保管場所	保管方法	エリア境界 空間線量率 (mSv/h)	保管量	前回集約からの増減 <sup>※1</sup> (2019.7.31 - 2019.8.30)	変動 <sup>※2</sup> 理由	エリア 占有率	保管量 <sup>※3</sup> /保管容量 (割合)	トピックス
瓦礫類 屋外集積 (0.1mSv/h以下)	B	屋外集積	0.01	5,300 m <sup>3</sup>	微増	m <sup>3</sup> ①②	100%	200200 / 252700 (79%)	・フランジタンク解体片 2019年8月末時点でコンテナ960基保管。 エリアP1 コンテナ数：649基 (2015年6月15日～) エリアAAコンテナ数：311基 (2018年3月15日～)
	C	屋外集積	0.01未満	62,900 m <sup>3</sup>	微減	m <sup>3</sup> ①③	99%		
	F2	屋外集積	0.01未満	6,400 m <sup>3</sup>	0	m <sup>3</sup> —	85%		
	J	屋外集積	0.01	6,200 m <sup>3</sup>	0	m <sup>3</sup> —	78%		
	N	屋外集積	0.01未満	9,600 m <sup>3</sup>	0	m <sup>3</sup> —	96%		
	O	屋外集積	0.01未満	42,600 m <sup>3</sup>	微増	m <sup>3</sup> ②	83%		
	P1	屋外集積	0.01未満	51,300 m <sup>3</sup>	+100	m <sup>3</sup> ①②④	80%		
	U	屋外集積	0.01未満	700 m <sup>3</sup>	0	m <sup>3</sup> —	100%		
	V	屋外集積	0.01	5,000 m <sup>3</sup>	+200	m <sup>3</sup> ①②	83%		
AA	屋外集積	0.01未満	10,300 m <sup>3</sup>	+300	m <sup>3</sup> ①	28%			
瓦礫類 シート養生 (0.1~1mSv/h)	D	シート養生	0.01未満	2,600 m <sup>3</sup>	0	m <sup>3</sup> —	58%	38700 / 71000 (55%)	・エリアWでの車両解体(プレス等)完了。(2018年1月)
	E1	シート養生	0.02	14,200 m <sup>3</sup>	微増	m <sup>3</sup> ④	89%		
	P2	シート養生	0.01	5,600 m <sup>3</sup>	微増	m <sup>3</sup> ⑤	63%		
	W	シート養生	0.03	8,300 m <sup>3</sup>	+100	m <sup>3</sup> ①②	28%		
瓦礫類 覆土式一時保管施設、 仮設保管設備、容器 (1~30mSv/h)	L	覆土式一時保管施設	0.01未満	16,000 m <sup>3</sup>	0	m <sup>3</sup> —	100%	18100 / 31700 (57%)	・主な瓦礫類は、1~3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・覆土式4槽の受入開始に伴い、保管容量(4,000m <sup>3</sup> )増加。 (2018年5月)
	A	仮設保管設備	0.14	900 m <sup>3</sup>	微減	m <sup>3</sup> ⑥	13%		
	E2	容器 <sup>※4</sup>	0.01未満	600 m <sup>3</sup>	0	m <sup>3</sup> —	31%		
	F1	容器	0.01未満	600 m <sup>3</sup>	0	m <sup>3</sup> —	99%		
瓦礫類 固体廃棄物貯蔵庫	固体廃棄物貯蔵庫	容器 <sup>※4</sup>	0.01	17,500 m <sup>3</sup>	+200	m <sup>3</sup> ①⑤⑥	38%	17500 / 45600 (38%)	・主な瓦礫類は、1~3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・固体廃棄物貯蔵庫9棟の運用開始に伴い、保管容量(33,600m <sup>3</sup> )増加。 (2018年2月)
合計(ガレキ)				274,500 m <sup>3</sup>	+900 m <sup>3</sup>	—	68%		
伐採木 屋外集積 (幹・根・枝・葉)	G	屋外集積	0.01未満	25,300 m <sup>3</sup>	0	m <sup>3</sup> —	63%	96800 / 134000 (72%)	
	H	屋外集積	0.01未満	31,700 m <sup>3</sup>	0	m <sup>3</sup> —	74%		
	M	屋外集積	0.01未満	39,600 m <sup>3</sup>	0	m <sup>3</sup> —	88%		
	V	屋外集積	0.01	100 m <sup>3</sup>	0	m <sup>3</sup> —	2%		
伐採木 一時保管槽 (枝・葉)	G	伐採木一時保管槽	0.01未満	26,200 m <sup>3</sup>	0	m <sup>3</sup> —	88%	37300 / 41600 (90%)	
	T	伐採木一時保管槽	0.01未満	11,100 m <sup>3</sup>	0	m <sup>3</sup> —	94%		
合計(伐採木)				134,100 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	—	76%		
保護衣 屋外集積	容器	0.04	56,500 m <sup>3</sup>	-600 m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup> ⑦	83%	56500 / 68300 (83%)	・使用済保護衣等焼却量 5664t (2019年8月末累積) ・焼却灰(プラスチック含む)のドラム缶数 1406本 (2019年8月末累積)	
合計(使用済保護衣等)				56,500 m <sup>3</sup>	-600 m <sup>3</sup>	—	83%		

※1 100m<sup>3</sup>未満を端数処理しており、微増・微減とは100m<sup>3</sup>未満の増減を示す。  
 ※2 主な変動理由：①タンク関連工事 ②構内一般廃棄物 ③敷地造成関連工事 ④エリア整理のための移動(P1→E1) ⑤1~4号機建屋周辺瓦礫撤去関連工事  
 ⑥エリア整理のための移動(A→固体庫) ⑦焼却運転

※3 端数処理で100m<sup>3</sup>未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。  
 ※4 水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)を含む。

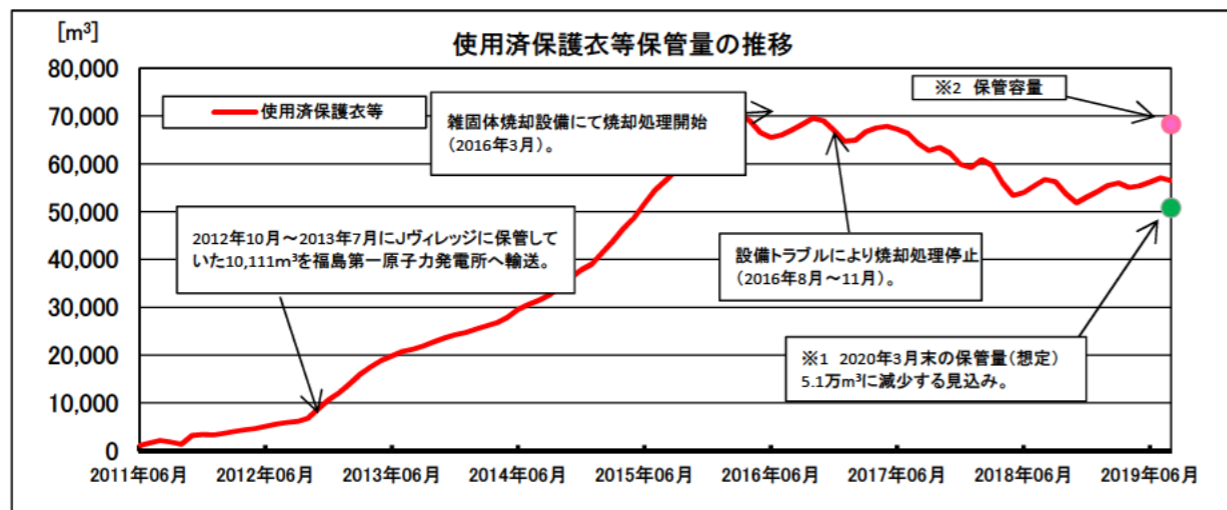
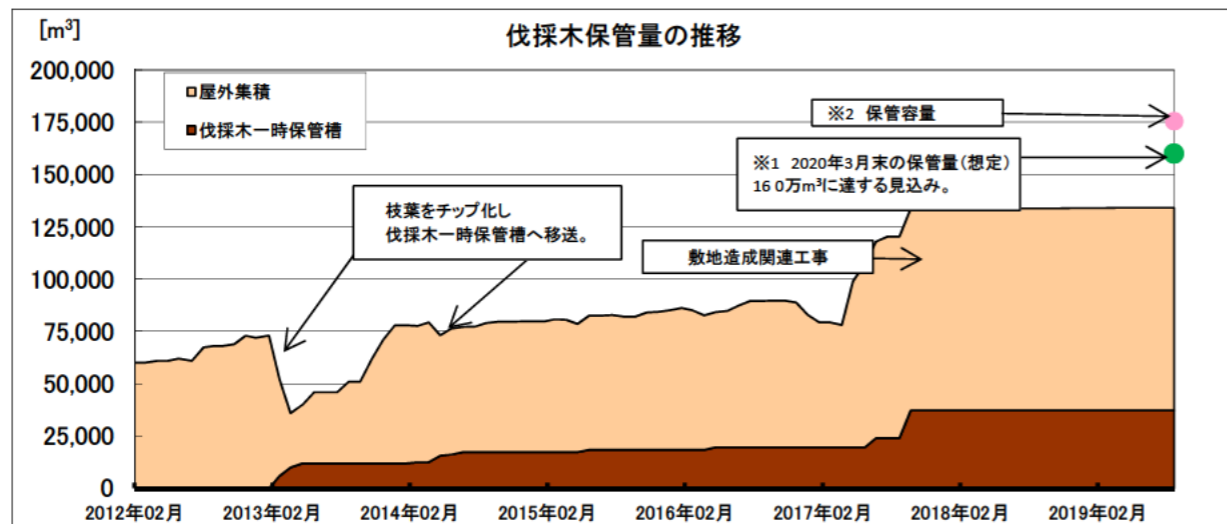
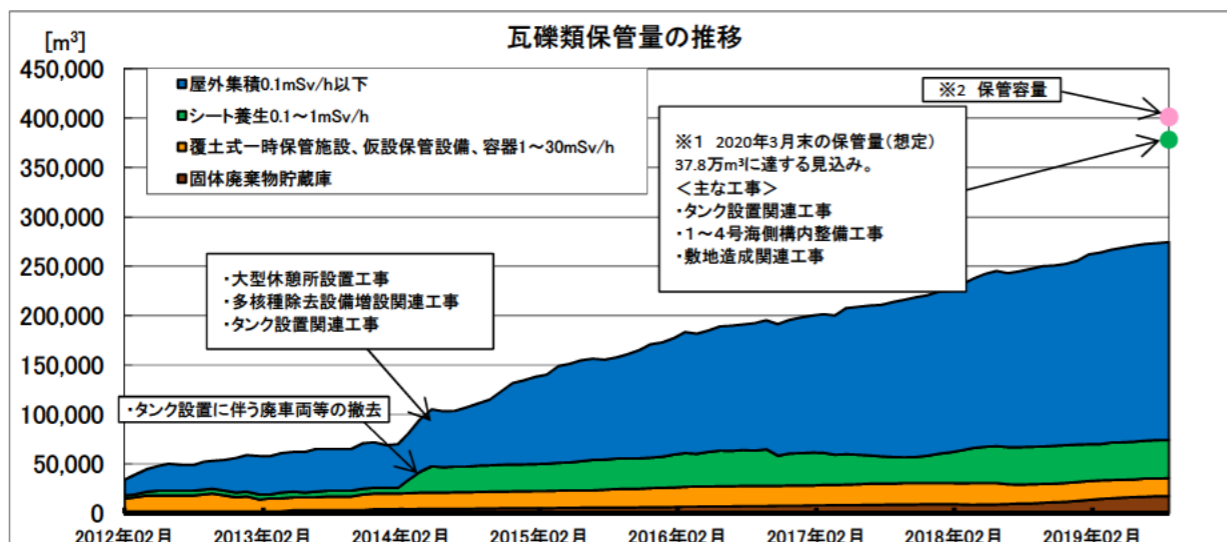


### 水処理二次廃棄物の管理状況(2019.9.5時点)

分類	保管場所	種類	保管量	前回集約からの増減 (2019.8.1 - 2019.9.5)	保管量/保管容量 (割合)	トピックス	
水処理二次 廃棄物 使用済吸着塔 保管施設		セシウム吸着装置使用済ベッセル	779 本	0 本	4471 / 6372 (70%)	・吸着塔一時保管施設の増容量が認可(2015年12月14日) ・使用前検査完了(2017年5月26日)に伴う保管容量増(第四施設架台129塔分)	
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル	222 本	+2 本			
		多核種除去設備等保管容器	既設	1,639 <sup>※1</sup> 基			+2 基
			増設	1,539 <sup>※2</sup> 基			+19 基
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	高性能	74 本			0 本
多核種除去設備処理カラム	既設	11 塔	0 塔				
		モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類	207 本	0 本			
廃スラッジ 貯蔵施設	廃スラッジ		597 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>	597 / 700 (85%)	・除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 ・準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。	
濃縮廃液タンク	濃縮廃液		9,391 m <sup>3</sup>	-1 m <sup>3</sup>	9391 / 10300 (91%)	・タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。(現場パトロール異常なし) ・水位計0%以上の保管量：9291 [m] タンク底部~水位計の保管量(DS)：約100[m]	

※1：データ集計の間違い修正により、基数を訂正。【正】1,639基 【誤】1,622基 (2020.3.4)  
 ※2：データ集計の間違い修正により、基数を訂正。【正】1,539基 【誤】1,556基 (2020.3.4)

### 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2019.8.30 時点)



※1 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管量(想定)は、実施計画(2019年1月28日認可)の予測値を示す。  
 ※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管容量は、運用上の上限を示す。

### 水処理二次廃棄物の管理状況(2019.9.5時点)

